

令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：世田谷目黒農業協同組合

協定締結日：2016年5月11日

活動状況：継続中

連携先窓口：世田谷目黒農業協同組合

活動資金：研究室予算

担当教員(所属)：山田崇裕(国際バイオビジネス学科准教授)

活動体制(単位)：個人

関連教員(所属)：北田紀久雄(元食料環境経済学科教授)

2019年度末をもって北田先生が定年により退職されたため、2020年度4月より山田崇裕(国際バイオビジネス学科准教授)が後任として担当することとなった。

活動目的：

活動内容・成果：

担当教員が世田谷区都市農地等保全に関する研究会(世田谷区主催)に参画することとなり、JA世田谷目黒の職員もメンバーとして加わっている。研究会は複数回開催され、JA世田谷目黒職員との直接的な交流はなかったが、市民や学識経験者も含めて農業振興、農地保全にかかわる意見交換が行われた。

課題・改善点：

2020年度に窓口担当教員が交代となったことを契機に、本学より中長期的に継続可能な研究活動、教育活動に関する共通テーマ、活動内容等を提案し、準備を進めていく予定であった。しかし、2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出されたことで計画は実行できなかった。

2022年度は、JA世田谷目黒担当者と直接意見交換を行い、地域の大学としての農大側の教育研究シーズとJA側のニーズを擦り合わせ、実行可能な共通テーマを設定できればと考えている。